



# PIWU 広中

郵政産業労働者ユニオン

2026年

5月11日号

発行：郵政産業労働者  
ユニオン 広島中央支部  
TEL・FAX 082-244-7719  
E-mail piwu-hirochu@  
abelia.ocn.ne.jp

## 26春闘を振り返る

格差を拡大した春闘！！低回答を  
「普通」に変えてはいけない！！

**社員を大切にしない会社には未来はない！！**

皆さんおはようございます。  
今年の春闘行動も、メンバーも終わった。26春闘要求は本部・地本・支部それぞれで提出し、回答が示された。支部の要求は26項目で、回答は紙面の都合上省略するが、とても誠意ある回答では無かった。賃金では、特にボーナスにおいて、当初日本郵便は正社員3・5月と提示した。これを見た私は、かつて日通との宅配統合で大失敗した際のボーナス3・0月を思い出さずにはいられなかった。今回は特にそのような事案は無い中で的大幅カット。最終的に本部交渉で4・0月まで回復したが、結果的に昨年より引き下げとなった。またゆうちょ銀行4・5月、かんぽ生命4・4月と、三社間で格差をつけた回答となった。私は最初の3・5月で、社員としてのモチベーションはゼロになったが、4・0月まで回復したことで何とか我慢できるまで落ち着いた。

しかし今でも到底納得などしていない。非正規社員に対するゼロ回答も本当に許せない。私たち社員は何も悪くない。全て経営責任である。郵便物量の減少が起因する減益だろうが、それは郵便料金を安易に値上げしたからだ。そんな想定もしていなかったのか？あまりにもお粗末ではないか？日本郵便のやっていることは計画性に欠ける。値上げではなく、多すぎる郵便商品の無駄を省き、スリムにするべきだ。また、スマホなど、設備投資は最小限に抑えるべきではないのか？後先考えずに他社との競争ばかり意識し過ぎるため、無駄なお金を使い、大幅な赤字を生み出している。そしてその赤字を、社員の給料を減らして補填しようとするなど、会社の経営として有り得ないことをしている。このままこんなことを続けていたら、社員は管理者以外誰もいなくなるのだからないのだろうか？